

会員向け勉強会に参加して

難波特別支援学校支部 長谷川 美智代

9月の勉強会は、大阪市危機管理室の方をお招きして大阪市の防災対策や取り組みについてお話いただきました。

9月1日の「防災の日」を中心とする防災週間には、様々な防災に関する行事や訓練が行われます。大阪府・大阪市では、9月5日に「第3回大阪880万人訓練」が実施されました。その時、携帯電話に届いた緊急速報を見て身の引き締まる思いがしたのを思い出しながらお話を伺いました。

大阪市では、①南海トラフ巨大地震 ②上町断層の活動による直下型地震 ③大雨に伴う河川氾濫の水害の3つに対して被害を想定しています。

上町断層を震源域とした直下型地震は、30年以内に2～3%の発生確率だそうで、中央区、天王寺区等6つの区が震度7と想定されています。

また、南海トラフを震源域とした地震の津波では、市内17区が浸水と想定されており、海側から離れた都島区や城東区等の一部でも河川の逆流のため浸水深が2m近くに達するところもあるそうです。

河川の氾濫については、100年～200年に1度起きるゲリラ豪雨による浸水想定で、例えば淀川が氾濫した場合、河川周辺の区の浸水深は4mと津波並みの被害の大きさです。

以上のような想定を基、市では、防災広報・防災教育・訓練の実施等のソフト対策と津波・河川氾濫対策、建築物の不燃化対策等のハード対策に取り組んでおられます。また、34万人の非難生活者を想定し、6つの備蓄拠点、各区役所、災害時非難所に食糧や飲料水、生活関連品等の備蓄を行っています。家庭においては、流通物資が届くのに時間がかかるため、できれば7日分の備蓄に取り組んでもらいたいと付け加えられました。こうした公助も然ることながら、自助(自分の命は自分で守る)、共助(地域住民が助け合う)による地域の防災力の向上が重要だと話されました。そのために、市では26年度中の目標として、全地域で住民による自主防災組織の確立と実行力の確保、訓練やセミナーの実施を掲げています。そして3年以内には、全地域で地区防災計画、防災マップの作成・改定を行い、要援護者支援計画及び要援護者名簿を作成するとしています。この目標は、是非とも期間内に達成してもらいたいと思います。

最後に、地域における取り組みとして、避難支援訓

練では要援護者と支援者が話し合い、支援プランを作成してお互いに持っておく事や、避難所開設訓練(福祉避難室)では、事前にワークショップを行い、検討した配置図にそって実際にベッドや間仕切りを設置し、参加された障がい者や福祉関係者の方々に意見を聞くという事例を紹介されました。私達の子どもが避難所生活を送ることは大変な事ですが、配慮のある避難所運営を行ってもらうためには、日頃から地域の活動に参加し、知っておいてもらう事も重要だと話されていました。

冒頭、耐震対策が有る場合と無い場合のリビングやオフィスで地震が起きた様子を映像で見せていただきましたが、対策がされてないとタンスや本棚等が大きく揺れながら簡単に倒れきて、部屋は悲惨な状態でした。家庭内の安全対策、非常持出し品の用意、避難場所の確認(各区役所の防災マップに記載)等の日頃からの備えは勿論のこと、子ども達の障害を理解してもらうための啓発活動が欠かせない事を実感した内容の濃い学習会でした。

大阪市育成会会員日より

《大阪市手をつなぐ育成会大会について》

- ・日時：11月16日(日) 10:30～15:00
- ・場所：大阪YMCA国際文化センター
- ・参加費：2,000円(昼食代含む場合)
1,000円(資料代みの場合)
- ・申込については事務局までお問い合わせください。

《レクリエーション(本人活動支援)について》 ボウリング教室

- ・日時：11月29日(土) 13:00～14:30
- ・場所：桜橋ボウル
- ・定員：30名 ・参加費：1,000円(貸靴代含む)
- ・申込締切：11月20日(木) (定員になり次第締切)

《大阪市手をつなぐ育成会懇親会について》

- ・日時：12月5日(金) 12:00～14:00
- ・場所：KKRホテル大阪 14階 オリオンの間
- ・参加費：6,000円
- ・申込：11月20日(木) (定員になり次第締切)

《勉強会のお知らせ》

11月の勉強会は休会です。

《11月部会等日程案内》

部会名	日時	会議室
支部連絡会	11月20日(木) 13:00	301